

法人（事業所）理念	<法人理念> 「喜び」と「希望」と「幸せ」を 盛岡市社会福祉事業団は、利用者が笑顔で喜びを感じながら、希望を持って健康で幸せな生活を送ることができるよう、利用者一人ひとりの人権を尊重し、個人としての尊厳を大切に にして、真心を込めた支援に努めるとともに、関係団体等と連携を図りながら地域共生社会の実現に貢献します。 <事業所理念> いるかデイ仙北は、重症心身障害児・者が心身ともに健やかに育ち、その有する能力を十分発揮して自立した日常生活を明るく、楽しく、元気よく生活するよう支援します。								
支援方針	障害児支援の基本理念をふまえて、こどもや家族への支援、関係機関や地域との連携に当たっていく。 （１）障害の特性を踏まえたニーズに応じた発達支援の提供 こどもの発達全般や障害の特性・行動の特性、生活の連続性に配慮し、こどもの今の育ちの充実と将来の社会参加を促進する観点から、こどものウェルビーイング（生きがいや人生の意義などを持続的に感じられる、身体的・精神的・社会的に幸せな状態）の向上につながるよう、必要な発達支援を提供する。 また、こどもの障害の特性に合った環境や適切な働きかけによる支援を提供するとともに、こども自身が内面的に持つ力を発揮できるよう、エンパワメント（意欲・能力の内発的な発揮）を前提とした支援をする。 （２）こども一人一人の障害の状態及び発達の過程・特性等に応じた合理的な配慮の提供 こどもや保護者と対話を重ね、物理的な環境や意思疎通、ルールや慣行など、何がこどもの活動を制限する社会的なバリアとなっているのか、また、それを取り除くために必要な対応はどのようなものがあるか、などについて検討して支援していく。 （３）家族支援の重視 こどもの成長・発達の過程での、様々な出来事や情報により揺れ動き葛藤する家族を、ライフステージを通じて、しっかりとサポートすることにより、こどもの「育ち」や「暮らし」が安定し、こども本人にも良い影響を与えることが期待できる。出生時から障害特性が明確化したこどもが利用するケースが多いことに留意して、家族がこどもの障害を含め、そのこども本人のありのままを肯定していく過程に寄り添い、丁寧に家族支援を行っていく。 家族の支援に当たっても、家族のウェルビーイングの向上につながるよう取り組み、家族自身が内面的に持つ力を発揮できるよう、エンパワメントを前提とした支援をする。 （４）共生社会の実現に向けた、地域社会への参加・包摂（インクルージョン）の推進 障害の有無にかかわらず、こども施策全体の中での連続性を意識し、こどもの育ちと個別のニーズを共に保障した上で、地域社会への参加・包摂（インクルージョン）の推進の観点を常に持ちながら、こどもや家族の意向も踏まえ、放課後児童クラブ等の一般のこども施策との併行利用や移行に向けた支援や、地域で暮らす他のこどもたちと様々な行事等の機会を通じて共に過ごし、学びあい、成長していけるよう、交流などの取組を進めていく。 （５）事業所や関係機関と連携した切れ目のない支援の提供 こどもと家族を中心に据えて、客観的な事実を基に、正確で包括的な評価を行い、こどものライフステージに沿って、地域の各事業所、保健、医療、障害福祉、保育、教育、社会的養護、就労支援等の関係機関や障害当事者団体を含む関係者と相互に関係しあい連携しながら、子育て支援施策全体の連続性の中で切れ目のない一貫した支援を行い、こどもの現在から将来の豊かな育ちを保障していくことに努める。								
営業時間	8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	※盛岡市及び事業に支障のない地域

		ね ら い・支 援 内 容
	健康・生活	<健康状態の維持・改善> ○健康状態の把握と対応 ・健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 ・こどもの心身の状態をきめ細やかに確認し、平常とは異なった状態を速やかに見つけ出し、必要な対応をする。 ・意思表示が困難であるこどもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインでも心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。 ○リハビリテーションの実施 ・日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれのこどもが持つ機能をさらに発達させながら、こどもに適した身体的、精神的、社会的支援を行う。 <生活習慣や生活リズムの形成> ○睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援する。 ・健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下の摂食機能、姿勢保持、手指の運動機能等の状態に応じた自助具等に関する支援を行う。 ・衣服の調節、室温の調節や換気、病気の予防や安全への配慮を行う。 <基本的生活スキルの獲得> ○生活に必要な基本的技能の獲得 ・こどもが食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、生活の場面における環境の工夫を行いながら、こどもの状態に応じて適切な時期に適切な支援をする。 ○構造化等による生活環境の調整 ・生活の中で、様々な遊びや体験を通した学びが促進されるよう環境を整える。 ・障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。 ○医療的ケア児への適切なケアの実施 ・適切に医療的ケアを受けられるよう、こどもの医療濃度に応じた医療的ケアの実施や医療機器の準備、環境整備を行う。 <生活におけるマネジメントスキルの育成> ○障害の特性や身体各部の状態について理解し、それらが及ぼす生活上の困難や補助機器を用いる際の留意点等について理解を深め、状況に応じて、自己の行動や感情を調整したり、他者に対して主体的に働きかけたりしてより生活しやすい環境にしていくための支援をする。 ・自分で何をするかアイデアを出しながら、自分の生活をマネジメントすることができるよう、こどもの意向を受け止めながら、自分で組み立ててできる行動を増やしていけるよう支援する。
	運動・感覚	<姿勢と運動・動作の基本的技能の向上> ○日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 <姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用> ○姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。 <身体の移動能力の向上> ○自力での身体移動や歩行、歩行器や車椅子による移動など、日常生活に必要な移動能力や、事業所外での移動や交通機関の利用など、社会的な場面における移動能力の向上のための支援を行う。 <保有する感覚の活用> ○保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 <感覚の補助及び代行手段の活用> ○障害の状態や発達の段階、興味関心に応じて、保有する感覚を用いて情報を収集し、状況を把握しやすくするよう、眼鏡や補聴器等の各種の補助機器や ICTを活用することや、他の感覚や機器による代行的にできるように支援する。 <感覚の特性への対応> ○感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。

本 人 支 援	認知・行動	<認知の特性についての理解と対応> ○一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。 ・こだわりや偏食等に対する支援を行う。 <対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得> ○感覚の活用や認知機能の発達 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、これらの感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行う。 ○知覚から行動への認知過程の発達 ・取得した情報を過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動につなげることができるよう支援を行う。 ○認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 ・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 <行動障害への予防及び対応> ○感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。
	言語 コミュニケーション	<コミュニケーションの基礎的能力の向上> ○障害の種類や程度、興味・関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器等を用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けることができるよう支援する。 <言語の受容と表出> ○話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援する。 <言語の形成と活用> ○コミュニケーションを通して、事物や現象、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身に付けることができるよう支援する。 <人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得> ○個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得や場面に応じた言動・対応など人との関わり方についての学び等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 <コミュニケーション手段の選択と活用> ○指差し、身振り、サイン等の活用 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 ○手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用 手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 ○コミュニケーション機器の活用 機器（パソコン・タブレット等の ICT 機器を含む。）等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。 <状況に応じたコミュニケーション> ○コミュニケーションを円滑に行うためには、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握することが重要であることから、場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援する。 <読み書き能力の向上> ○発達障害のあるこどもなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。

	人間関係 社会性	<アタッチメント（愛着）の形成と安定> ○アタッチメント（愛着）の形成 ・こどもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行う。 ○アタッチメント（愛着）の安定 ・自身の感情が崩れたり、不安になった際に、大人が相談にのることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるよう「安心の基地」の役割を果たせるよう支援する。 <情緒の安定> ○自身の感情や気持ち、生理的な状態像に関心を持ち、その変化の幅を安定させることに興味を持つことができるよう援助し、変化の幅が小さく安定した情緒の下で生活ができるよう支援する。 <他者との関わり（人間関係）の形成> ○他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるように支援する。 <遊びを通じた社会性の発達> ○模倣行動の支援 ・遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性の発達や対人関係の構築を支援する。 ○感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援 ・感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 ○一人遊びから協同遊びへの支援 ・周囲にこどもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 <自己の理解と行動の調整> ○自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解し、自己を肯定的に捉えられる機会を通じて、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援する。 <仲間づくりと集団への参加> ○集団に参加するための手順やルールを理解し、こどもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援する。
	家族支援	<アタッチメント（愛着）の安定> ○こどもの信頼感を育むとともに、こどもの感情や不安に寄り添い、家族や周囲の人と安定した関係を継続するための支援 <家族からの相談に対する適切な助言等> ○家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ○こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援 ○こどもの支え方や食事のとり方等の具体的な介助方法についての助言・提案 ○家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するための延長支援 ○心理的カウンセリングの実施 ○保護者同士の交流の機会の提供 ○きょうだい同士の交流の機会の提供やきょうだいに対する相談援助 <障害の特性に配慮した家庭環境の整備> ○こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、必要に応じてペアレント・プログラム、ペアレント・トレーニングの検討 ○家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供 ○研修会開催情報の提供

移行支援	<放課後児童クラブ等への移行支援、ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備> ○具体的な移行や将来的な移行を見据えたこどもの発達の評価・支援（※） ○具体的な移行先との調整 ○移行先との支援方針・支援内容の共有や、こどもの状態・親の意向・支援方法についての伝達 ○家族への情報提供や移行先の見学調整 ○移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ○移行先への相談援助 ○進路や移行先についての本人や家族への相談援助（※） <放課後児童クラブ等と並行利用している場合における並行利用先との連携> ○併行利用先とのこどもの状態や支援内容の共有（例：得意不得意やその背景、声掛けのタイミングやコミュニケーション手段の共有） ○併行利用の場合の利用日数や利用時間等の調整 <同年代のこどもをはじめとした地域における仲間づくり> ○地域の学校や放課後児童クラブ、児童館、地域住民との交流 （※）「移行」の視点を持った本人や家族に対する支援は、「本人支援」や「家族支援」と内容が重なる場合もある。
地域支援・地域連携	<通所するこどもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援> ○こどもが通う学校や放課後児童クラブ等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、放課後等デイサービス計画の作成又は見直しに関する会議の開催 ○こどもを担当する保健師や、こどもが通う医療機関等との情報連携や調整 ○こどもに支援を行う発達障害者支援センターや病院、地域生活支援拠点等との連携・こどもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携 ○虐待が疑われる場合には、児童相談所やこども家庭センターとの情報連携 ○民生児童委員、主任児童委員等地域の関係者等との連携 ○個別のケース検討のための会議への参加
職員の質の向上	<提供する支援の質の向上> （１）職員の知識・技術の向上 ○職員の資質の向上の支援に関する計画を策定し、研修の実施・研修機会を確保する ・事業所の役割、障害のあるこどもの発達段階ごとの特性、障害種別・障害の特性、こどもと家族に対する適切なアセスメントと支援の内容・方法、関連する制度の仕組み、関係機関・団体の役割、児童虐待への対応、障害者権利条約の内容等。 （２）職員の資質向上のための研修機会等の提供 ○自治体や児童発達支援センター、障害児支援関係団体が実施する研修等への職員の参加、事業所における放課後等デイサービスガイドラインを使用した勉強会、事業所に講師を招いての研修会、職員を他の事業所等に派遣しての研修、事業所内における職員の自己研鑽のための図書の整備。サービス管理責任者、介護福祉士等の資格取得に対する支援、医療的ケアが必要なこどもや重症心身障害のあるこどもに対する喀痰吸引等の受講支援の機会を提供する。 ○児童発達支援管理責任者による、職員に対しての技術指導及び助言。 ○目標管理制度による施設長等の上位者による定期的な面談・相談機会の確保。 （３）児童発達支援センターによるスーパーバイズ・コンサルテーションの活用 ○支援内容等の助言・援助、対応が難しいこどもや家族の個別ケースへの支援も含めた事業所全体への支援を、必要に応じて事業所に来訪してもらったり、事業所が児童発達支援センター等を訪問することにより受ける。 <こどもの権利擁護の徹底> ○虐待防止の取組 ・虐待防止委員会　・虐待防止研修の実施 ○身体拘束への対応 ・身体拘束適正化委員会　・適切な手順を踏まえた対応
主な行事等	<季節の節目を感じ、豊かな感性や情緒を養う> <望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深める> ○主な行事 ・誕生日おめでとう会 ○季節に応じた伝統行事・制作活動 ・ガーデニング　・母の日制作　・父の日制作　・水あそび　・夏祭り　・ミニ運動会　・クリスマス会　・お正月レク　・雪遊び　・節分、豆まき

令和7年度 いるかデイ仙北 年間活動プログラム

目標		季節の行事や余暇活動、外出活動を通じて職員や仲間、地域の方との関わりを持ちながら 安全に心身ともに楽しく過ごす。											
年間区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本 人 支 援	健康・生活	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び（風船、ボール等） ・ゲーム ・ふれあい体操 ・制作活動	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び（風船、ボール等） ・ゲーム ・ふれあい体操 ・母の日制作 ・外出活動	・散歩 ・運動遊び（風船、ボール等） ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・父の日制作	・運動遊び（風船、ボール等） ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・水遊び ・外出活動	・運動遊び（風船、ボール等） ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・水遊び ・感触遊び ・夏祭り	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び（風船、ボール等） ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び（風船、ボール等） ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・外出活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び（風船、ボール等）	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び（風船、ボール等） ・クリスマス会、制作 ・足湯	・お正月レク ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・運動遊び（風船、ボール等）	・節分、豆まき ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び（風船、ボール等） ・足湯	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び（風船、ボール等） ・足湯
	運動・感覚	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・制作活動 ・スヌーズレン ・機能訓練	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・母の日制作 ・スヌーズレン ・機能訓練 ・外出活動	・散歩 ・運動遊び ・ゲーム ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン ・感触遊び ・母の日制作 ・父の日制作 ・機能訓練	・運動遊び ・ゲーム ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン ・感覚遊び ・機能訓練 ・外出活動	・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・水遊び ・感触遊び ・夏祭り ・音楽活動 ・機能訓練	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・スヌーズレン ・感触遊び ・機能訓練	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・スヌーズレン ・感触遊び ・機能訓練 ・外出活動 ・ミニ運動会	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・音楽活動 ・機能訓練	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・運動遊び ・クリスマス会、制作 ・足湯 ・音楽活動 ・機能訓練	・お正月レク ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・雪遊び ・音楽活動 ・足湯 ・音楽活動	・節分、豆まき ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・足湯 ・雪遊び ・読み聞かせ ・音楽活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・足湯 ・読み聞かせ ・音楽活動
	認知・行動	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・制作活動	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・母の日制作 ・外出活動 ・児童センター交流	・散歩 ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン ・水遊び ・父の日制作	・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン ・水遊び ・感触遊び ・外出活動	・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・水遊び ・感触遊び ・夏祭り ・音楽活動	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン ・外出活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・読み聞かせ ・音楽活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・クリスマス会、制作 ・雪遊び ・足湯 ・音楽活動	・お正月レク ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・運動遊び ・読み聞かせ ・足湯 ・音楽活動	・節分、豆まき ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・足湯 ・雪遊び ・読み聞かせ ・音楽活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・足湯 ・読み聞かせ ・音楽活動
	言語・コミュニケーション	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・制作活動	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・母の日制作 ・外出活動 ・児童センター交流	・散歩 ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン ・父の日制作	・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン ・水遊び ・感触遊び ・外出活動	・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・水遊び ・感触遊び ・夏祭り ・音楽活動 ・読み聞かせ	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン	・散歩 ・ガーデニング ・運動遊び ・ゲーム ・ふれあい体操 ・音楽活動 ・読み聞かせ ・スヌーズレン ・外出活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・読み聞かせ ・音楽活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・クリスマス会、制作 ・読み聞かせ ・足湯 ・音楽活動	・お正月レク ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・運動遊び ・読み聞かせ ・足湯 ・音楽活動	・節分、豆まき ・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・足湯 ・雪遊び ・読み聞かせ ・音楽活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・スヌーズレン ・感触遊び ・運動遊び ・足湯 ・読み聞かせ ・音楽活動
	人間関係 社会性	・散歩 ・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ	・散歩 ・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ ・母の日制作 ・外出活動 ・児童センター交流	・散歩 ・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ ・父の日制作	・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ ・外出活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・夏祭り ・読み聞かせ	・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ	・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ ・外出活動	・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ	・ゲーム ・ふれあい体操 ・クリスマス会、制作 ・読み聞かせ	・お正月レク ・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ	・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ	・ゲーム ・ふれあい体操 ・読み聞かせ
移行支援・インクルージョン推進の取り組み		・心身の健康を維持し、余暇活動を通じて地域の方と交流する機会を増やしていく。 （通年を通して取り組んでいく）	・いるかデイの施設を見学する機会を設けたり、触れ合う（車椅子をおす等の体験）機会を持ちながら理解を深めていく。 ・外出活動を通して、いろいろな人と様々な交流を図っていく。	・外出活動により、社会経験の幅を広げていく。				・外出活動を通して、いろいろな人と様々な交流を図っていく。		児童センターのクリスマス会に参加したり、プレゼント交換の制作を通して交流や理解を深める。			